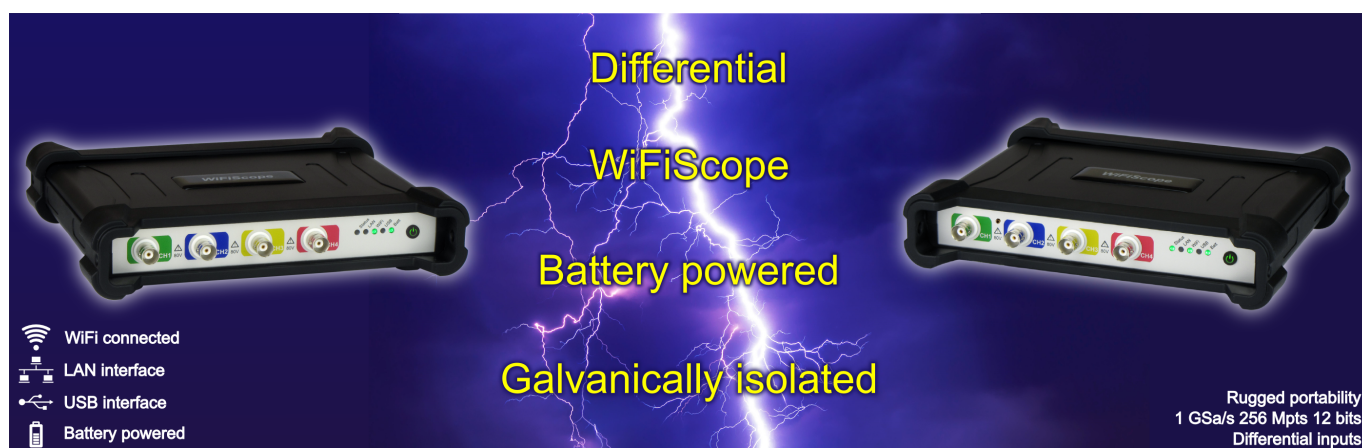


2020年3月発表

TiePieエンジニアリング社は、強力な高解像度WiFiScopeシリーズオシロスコープの2つの新しいメンバーを発表しました。新しいWiFiScopesは、TiePieエンジニアリングの新しい革新的な開発をお示します。これは、差動入力を備えた、業界で初めてのWiFi接続オシロスコープです。

差動WiFiオシロスコープは、エンジニアがエンジニア用に構築した毎日のオシロスコープであり、イーサネット接続（LAN、WiFiまたはWAN）を介して使用できますが、USB 2.0 / 3.0接続でも使用できます。内蔵バッテリーにより、WiFiScopeは完全に無線での差動測定を実行できます。その後、長距離にわたって完全に電氣的に絶縁された状態で測定を実行できます。このワイヤレスPCベースのデータ収集機器は、ユーザーに測定アプリケーションの可能性を広げます。

差動オシロスコープの一般的な用途は、シリアル通信バスでの測定、スイッチングモード電源および周波数変換器での測定、および自動車関連の測定です。



WAN接続を使用すると、広域な全世界規模の差動測定を実行できます。ネットワークに関する特別な知識は必要ありません。標準付属するマルチチャンネル・ソフトウェアは、利用可能なUSB機器およびネットワーク機器の概要を提供します。機器にチェックを入れるだけで、測定を開始できます。

WiFiオシロスコープには次の利点があります。

- ・内蔵バッテリーにより電磁的な絶縁で、WiFiを介した完全な無線差動測定が実行できます
- ・モバイルで差動測定が可能なので輸送システムや移動設備での利用
- ・LANおよびWANデータ収集は、長距離の差動測定に使用可能
- ・WiFi WiFiとLAN / WANの両方で連続したリアルタイムの高速データ収集が利用可能
- ・スタンドアロンアプリケーションと最大200 MSa / sの高速データ収集用のUSB差動測定

差動WiFiScopeは非常に透過的であるため、イーサネットに接続された機器がコンピューターに直接接続されているように見えます。オシロスコープ、スペクトルアナライザ、データロガー、および電圧計のすべてのハードウェアおよびソフトウェア機能は、ネットワーク経由で利用可能です。特別なネットワーク知識は必要ありません。

ここでも、TiePieエンジニアリングのモットーが適用されます。Plug in and measure!

PCベースのデータ取得のインストールコストを削減するには柔軟性を高めるために、WiFiおよびLAN/WAN測定機器がソリューションです。以前は不可能であった差分測定アプリケーション、たとえば、長距離測定、安全でない場所や騒がしい場所での測定、移動する施設での測定、または異なる場所での測定器が利用可能になりました。TiePieエンジニアリングの新しい差動WiFiオシロスコープを使用すると、測定品質を損なうことなく、信頼性の高いWiFiおよびLAN/WAN測定ソリューションを取得できます。



差動WiFiオシロスコープは、以前は完全な測定設定を配置することが困難であった場所でも使用できるようになりました。WiFi接続のおかげで、電気信号、物理信号、機械信号、音響信号をリモートで測定できるようになりました。

WiFiオシロスコープを使用すると、8～16bitの分解能で5Mサンプル/秒の高速リアルタイム連続データ収集レートを達成でき、LAN/WAN接続を介して、8～16bitの分解能で20Mサンプル/秒の高速リアルタイム連続データ収集レートを実現できます。USB接続を介して、8～16bitの解像度で200 Mサンプル/秒の高速リアルタイム連続データ収集レートを実現できます。

ソフトウェア

無料のマルチチャンネルオシロスコープソフトウェアと組み合わせて、WiFiScope WS4 DIFFおよびWiFiScope WS6 DIFFは、PCを高解像度の差動オシロスコープ、高精度スペクトラムアナライザー、EMI Preコンプライアンスアナライザー、高性能マルチメーター、超高速差動データロガーおよび包括的なプロトコルアナライザーに変えます。MultiChannelオシロスコープソフトウェアを使用すると、データをすべての人と共有でき、機器を使用せずにデータを分析できます。

Multi Channelオシロスコープソフトウェアは、多くのユーザーが構成可能なデータ処理I/Oブロックを使用して高度なデータ分析機能を提供し、分析結果をグラフ、表、メーター表示で表示します。独自のクイックセットアップシステムを使用すると、時間のかかる複雑な機器のセットアップは不要になります。700以上の異なる機器のクイックセットアップにアクセスできる選択ダイアログから、最大4回のマウスクリックで実行する測定タスクを選択します。各クイックセットアップには、必要なすべての機器設定、サンプル信号、および機器の接続方法に関するバックグラウンド情報が含まれています。

独自のPCベースのデータ収集ソフトウェアを作成するための完全なソフトウェア開発キット（SDK）と、C、C++、C#、Python、Matlab、Node.js、VisualBasic.NETのサンプルが利用可能です。

Handyscope HS4 DIFFおよびHandyscope HS6 DIFF用の独自の記述データ収集ソフトウェアは、WiFiScope WS4 DIFFおよびWiFiScope WS6 DIFFに直接使用できます。USBデータ集録システムまたはワイヤレス高速WiFiデータ集録システム用のソフトウェアを開発しても違いはなく、開発したソフトウェアを透過的に使用できます。

TiePieエンジニアリングは現在、2つの新しいWiFiネットワークオシロスコープを提供しています。

WiFiScope WS4 DIFF



4 CH
50 MSa/s サンプリング
12 / 14 / 16 bit 分解能
128 kpts データバッファ
50 MHz 帯域
差動入力
頑丈設計

WiFiScope WS6 DIFF



4 CH
1 GSa/s サンプリング
8 / 12 / 14 / 16 bit 分解能
256 Mpts データバッファ
250 MHz 帯域
差動入力
頑丈設計

新しいTiePieエンジニアリングの差分WiFiScopesの詳細については、[www.tiepie.com / wifiscope](http://www.tiepie.com/wifiscope)をご覧ください。

TiePieエンジニアリングについて

1987年に設立されたオランダの革新的な企業であるTiePieエンジニアリングは、WiFiおよびUSBオシロスコープ、任意波形発生器、機能発生器、スペクトルアナライザー、プロトコルアナライザー、ロガーとマルチメーターなど、コンピューター制御の高品質テストおよび測定機器のメーカーとして認められています。TiePie製品は、リアルタイムSureConnect接続テスト、SafeGround保護、TiePieの洗練されたCMIバスを使用した複数の機器の組み合わせ同期動作などの革新的でユニークな機能を提供します。TiePieのコンパクトオシロスコープ、関数発生器、その他のデータ収集製品は、産業プロセス自動化、自動車のテストと測定、サービス部門、医療アプリケーション、研究センター、教育機関など、多くの市場で世界中で使用されています。



TiePie engineering
www.tiepie.com



<http://www.sunss.co.jp>